

4月は市議選

くらし・平和守れの 思いを日本共産党へ

子ども・精神障がい者の医療費助成が拡充されます



12月市議会に、①子どもの医療費助成を1割自己負担で中学卒業まで拡大し現物給付（病院窓口で1割負担）に ②精神障がい者の一般医療費を全額助成に拡大し現物給付に、などの条例改正案が提案され可決されました。

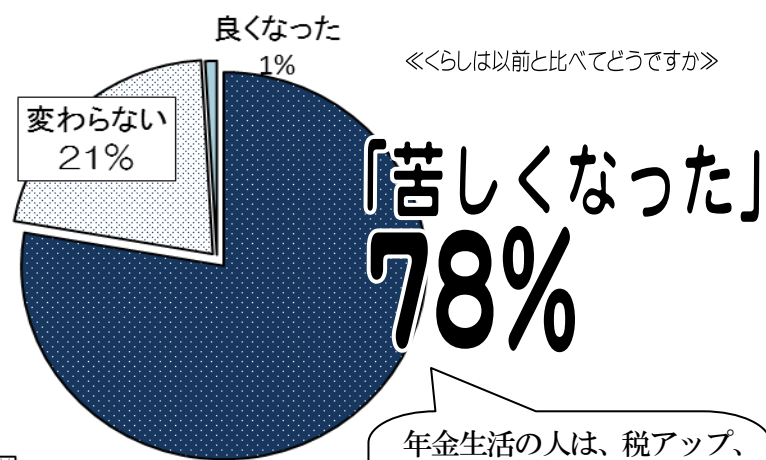
日本共産党議員団は、①の子どもの医療費

は一步前進したことを評価し賛成しました。さらに全額助成の実現をめざします。

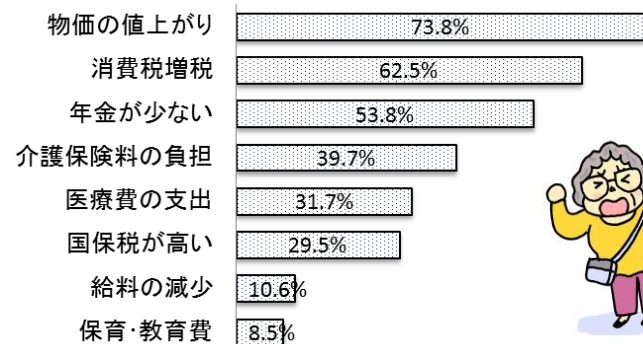
また②の精神障がい者医療費は、近隣で最も遅れた江南市の制度改善を求める要望書が、再三にわたり障がい者団体から提出されていたもので、日本共産党議員団も実現に尽力してきました。

日本共産党
江南市議員団

市政アンケートへのご協力ありがとうございました



《苦しくなったのはなぜですか》



年金生活の人は、税アップ、物価上昇等、くらしむきは悪くなるばかりです。
(門弟山・70代男性)

居酒屋をしています、客が少ないので安く提供しなければならず、儲けがない。
(宮田・70代男性)

日本共産党議員団が昨年10月下旬から行った「くらしの願い・市政アンケート」に、これまで650通を超える回答をいただきました。回答では「くらしが苦しくなった」人が78%にも。原因は多い順に「物価の値上がり、消費税増税、年金が少ない」でした。いくつもの原因に丸がついている人が多く、市民生活が苦境に追い込まれていることがはっきりしました。江南市のサービス水準に対する厳しい指摘や介護、子育ての負担軽減を求める声も多く寄せられました。（詳しくは裏面で）

日本共産党議員団は切実な願いを受け止め、12月議会の一般質問等で市に実現を迫った他、結果をまとめて市に要望書を提出する予定です。

あすの江南

安倍政権の暴走ストップ！ 願いが込められた

総選挙

8

21

議席

先の総選挙で、日本共産党は比例代表で606万票（得票率11・37%）を獲得し、8議席から21議席へ大躍進。衆議院でも議案提出権を得ることができました。党首討論への参加などができました。党首討論への参加などが発言機会・時間が大幅に増え、日本共産党国会議員団の活動の場が大きく広がりました。

沖縄の4つの小選挙区では、新基地建設に反対する「オール沖縄」勢力が全勝し、県民を裏切った自民党に対し知事選に続き明確な民意が示されました。



しまづ幸広新衆院議員（左）、もとむら伸子新衆院議員（右） 真ん中は勇退した、佐々木憲昭前議員

国民の声が生きる政治へ全力

日本共産党

熱心なご支援、ご協力をいただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。比例東海ブロックでは14年ぶりに、もとむら伸子、しまづ幸広の複数議席を得ることができました。江南市でも比例4751票（前回衆院選比1562票増）、小選挙区4866票（前回比1359票増）と前進しました。

自民多数は小選挙区制の弊害

自民・公明が3分の2を占める圧勝との報道がありますが、大政党内有利な小選挙区制が作りだした虚構の多数であることは明白です。国民の間では消費税増税や集团的自衛権行使反対、原発再稼働やめよ、沖縄新基地建設反対の声が多数派であることになりました。ありませぬ。アベノミクスも早晩、破綻が誰の目にも明らかになるでしょう。

日本共産党は国民のみなさんとの共同をさらに広げて安倍政権を包囲し、国民の声が生きる新しい政治を切り拓くためにがんばります。

江南市政アンケートでも安倍暴走政治NO！は多数派

